

地 理

1 次の図1は、グリーンランド上の地点Bを中心点とした正距方位図法による地図である。図1をみて、下の問1～問5に答えよ。

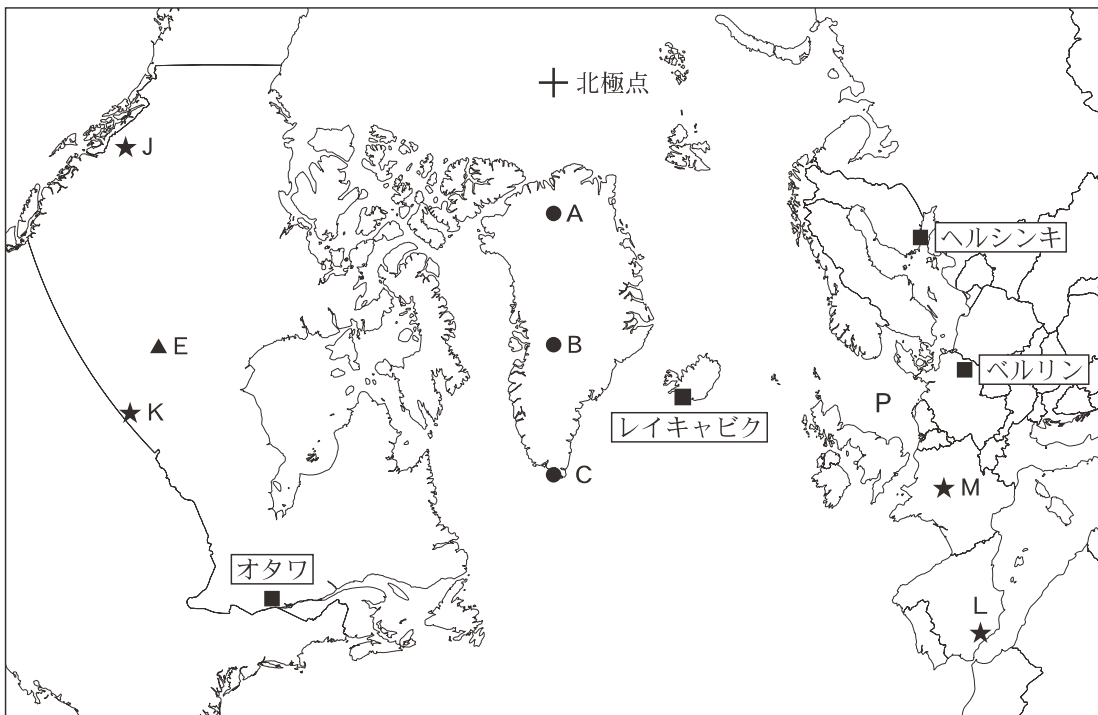


図1

問1 図1中のA～Cは西経45度上にある、それぞれ北緯80度、北緯70度、北緯60度の地点である。A～Cのうちから北極圏内にある地点をすべて選べ。該当する地点がない場合は、「該当なし」と記入すること。

問2 図1中の地点Bから地点Eまでの距離に最も近いものを、ア～エのうちから1つ選べ。

ア 1,110 km

イ 3,330 km

ウ 5,550 km

エ 7,770 km

問 3 次の図 2 は、図 1 中の J～M のいずれかの地点を撮影した衛星画像である。これに関して、下の問いに答えよ。

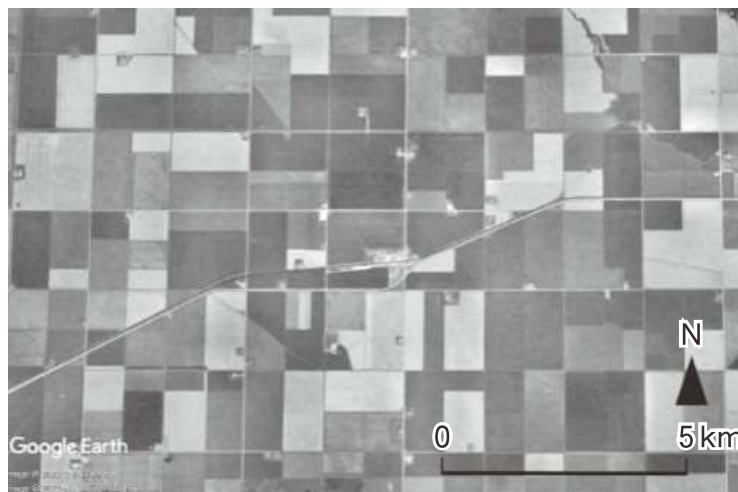


図 2

Google Earth により作成。

- (1) 図 2 に該当する地点を、J～M のうちから 1 つ選べ。
- (2) 図 2 にみられるような景観を作り出した、土地の区画制度の名称を記せ。

問 4 次の表 1 は、図 1 中に示されている、いくつかの国の首都における最寒月の月平均気温と総人口に占める首都人口の割合を示したものであり、カ～ケはオタワ、ヘルシンキ、ベルリン、レイキャビクのいずれかである。各都市に該当するものをカ～ケのうちからそれぞれ選べ。

表 1

	カ	キ	ク	ケ
最寒月の月平均気温(°C)	1.0	0.6	-4.8	-9.4
総人口に占める首都人口の割合(%)	4.4	36.0	11.9	2.7

総人口に占める首都人口の割合の統計年次は 2019 年ないし 2020 年。
気象庁のデータなどにより作成。

問 5 近年，ヨーロッパでは，風力発電をはじめとする，再生可能エネルギーによる発電量が増加している。これに関して，次の問いに答えよ。

(1) 下線部(a)に関して，図 1 中の P の海域には多くの風力発電設備が設置されている。その背景を，海底地形と風の状況に留意しながら 60～80 字で述べよ。

(2) 下線部(b)に関して，再生可能エネルギーを活用して化石燃料への依存度を減らすことは，エネルギー安全保障を強化すると考えられている。その理由を 80～100 字で説明せよ。

2 世界の交通・運輸に関連した，下の問1～問5に答えよ。

問1 水運に関連した次の(1)～(3)の文中の空欄 ～ に適当な語を入れよ。

- (1) 運河は，ヨーロッパの国際河川を結ぶことにより，北海と黒海の間^のの船舶航行を可能にしている。
- (2) セントローレンス海路を実現するためには，エリー湖と 湖の間^にに閘門式の運河を建設して，ナイアガラ滝^をを迂回する必要がある^があった。
- (3) サンパウロ近郊の 港は，コンテナ貨物取扱量において南米最大の港である。

問 2 次の表 1 中のカ～クは、世界の空港について、貨物取扱量、国際線の乗降客数、発着機数における上位 5 位までを示したものである。国際線の乗降客数に該当するものを、カ～クから一つ選び、その理由を 60～80 字で述べよ。

表 1

順位	カ	キ	ク
1	ハーツフィールド・ ジャクソン・アトランタ (アトランタ)	ドバイ (ドバイ)	ホンコン (ホンコン)
2	シカゴ・オヘア (シカゴ)	ヒースロー (ロンドン)	メンフィス (メンフィス*)
3	ロサンゼルス (ロサンゼルス)	ホンコン (ホンコン)	シャンハイ・プートン (シャンハイ)
4	ダラス/フォート・ ワース (ダラス)	アムステルダム・ スキポール (アムステルダム)	インチョン (ソウル)
5	ペキン首都 (ペキン)	パリ・シャルル・ ド・ゴール (パリ)	テッド・スティーブ ンス・アンカレジ (アンカレジ)

*アメリカ合衆国テネシー州の都市。

括弧内は空港周辺にある主要都市。

空港名のうち「空港」および「国際空港」は省略した。

統計年次は 2017 年。

Airports Council International の資料により作成。

問 3 次の図1は、ブラジルのアマゾン川流域の低地を南北に走るハイウェイの一部区間について、2000年、2010年、2019年に撮影した衛星画像である。図1中にみられる変化について説明した文として最も適切なものを、下の文サ～セのうちから一つ選べ。

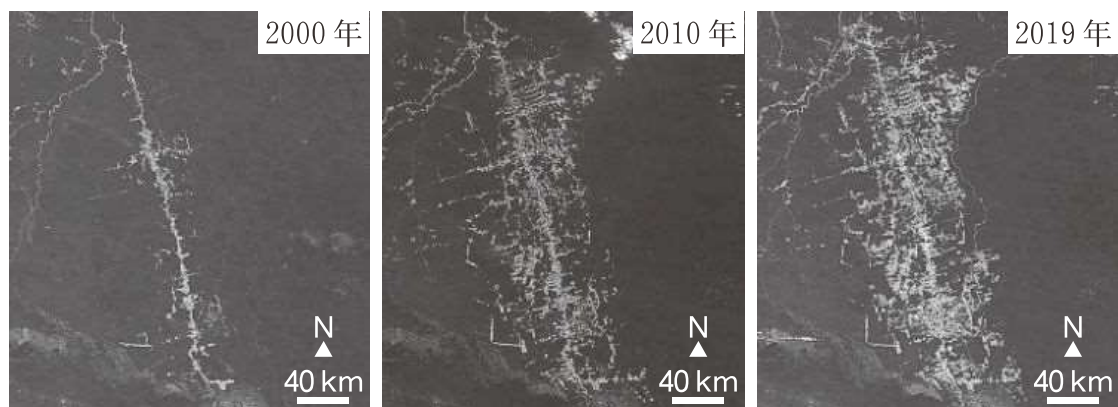


図1

NASA の資料により作成。

- サ ハイウェイ沿線にあった農地が放棄され、森林が回復してきた。
- シ ハイウェイ周辺では、等高線耕作により土壌侵食が抑えられてきた。
- ス ハイウェイの枝道沿いに、耕作地や放牧地が広がってきた。
- セ ハイウェイの周りで、露天掘りの鉱山が増加してきた。

問 4 次の図 2 中のタ～テは、いくつかの国における旅客の鉄道輸送量と貨物の鉄道輸送量を示したものであり、タ～テはインド、中国^{*}、日本、ロシアのいずれかである。インドと日本に該当するものを、タ～テのうちからそれぞれ選べ。

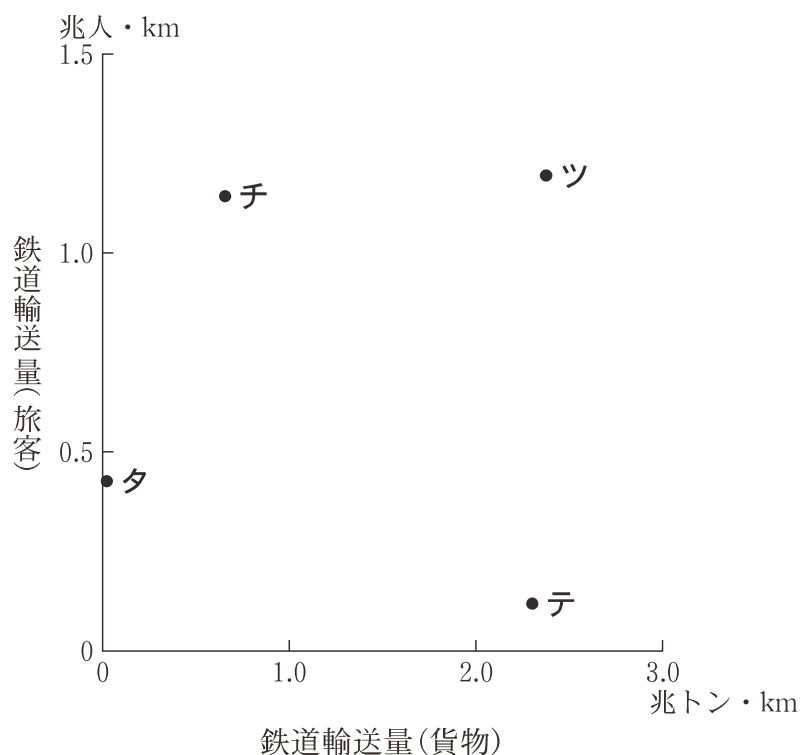


図 2

^{*}中国の数値には台湾、ホンコン、マカオを含まない。

統計年次は 2015 年。

World Development Indicator により作成。

問 5 輸送手段を自動車から他に転換することをモーダルシフトと呼ぶが、そのひとつに、長距離トラック貨物輸送を船舶や鉄道で代替する取り組みがある。この取り組みにより期待される効果について、自動車輸送の問題点に留意しながら、100～120 字で説明せよ。

3 兵庫県三田市^{さんだ}およびその周辺に関する下の問1～問4について、図1および後に示す地形図をみて答えよ。



図1

問1 次の図2に示したア～ウは、図1中の^{かすみ}香住、^{しおのみさき}三田、潮岬のいずれかの地点のハイサーグラフである。香住、三田、潮岬に該当するものをア～ウからそれぞれ選べ。

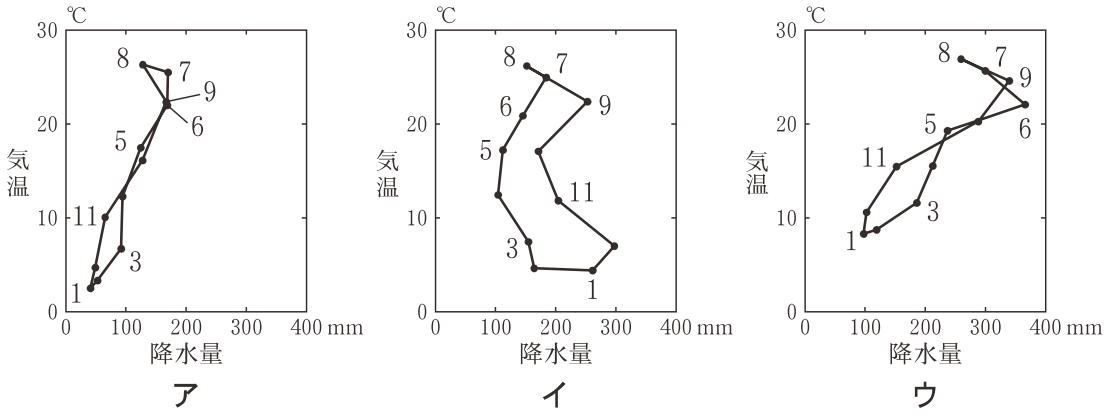


図2

気象庁の資料により作成。

問 2 次の図 3 は、地形図中の A の範囲における、ある種類の土砂災害の警戒区域を示したハザードマップである。図 3 中で網掛けされている範囲で発生する可能性の高い土砂災害が、どのように発生するのかを 40～60 字で説明せよ。

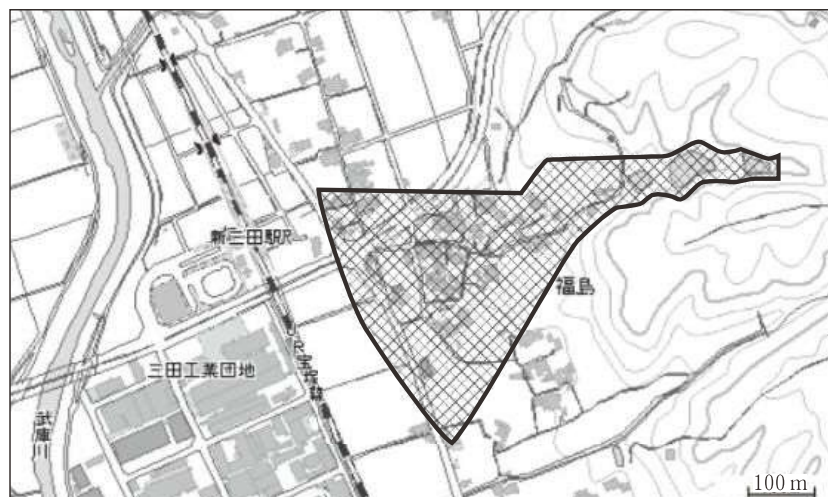


図 3

兵庫県の資料から作成。

問 3 次の図 4 は大規模な倉庫を撮影したものであり、地形図中の B 周辺で多くみられる。このような建物が B 周辺に立地している理由を 20～40 字で述べよ。



図 4

地形図は 26～27 ページに掲載。

問 4 江戸時代には武庫川南側に広がる城下町を中心として繁栄していた三田市は、1990年代に京阪神大都市圏の郊外都市として、著しい人口増加がみられた。これを踏まえた上で、下の問いに答えよ。

(1) 次の資料1は、三田市にかかわる鉄道網の整備に関する年表である。資料1と地形図を参考にして、市街地がどのように拡大したかについて、その背景に留意しつつ、下の3語をすべて用いて、160～200字で説明せよ。なお、語を使用する回数・順番は問わないが、語を最初に使用する箇所には下線を引くこと。

資料1

- 1899年 現在のJR 福知山線の三田駅が開業。
- 1928年 現在の神戸電鉄三田線の三田駅が開業。
- 1986年 現在のJR 福知山線の三田駅と広野駅(地形図範囲外)の間に、新三田駅を設置。
- 1991年 神戸電鉄公園都市線(横山駅—フラワータウン駅間)が開業。
三田駅からフラワータウン駅間の直通運転を開始。
- 1996年 神戸電鉄公園都市線(フラワータウン駅—ウッディタウン中央駅間)が開業。

*駅名については、地形図中に で示した。

神戸電鉄の資料などにより作成。

丘陵地 城下町 鉄道駅

(2) 次の図5は地形図中の地区Cおよび三田市全体の65歳以上の高齢者の割合を示したものである。地区Cの高齢者の割合が三田市全体の高齢者の割合よりも急激に高くなった理由を60～80字で説明せよ。

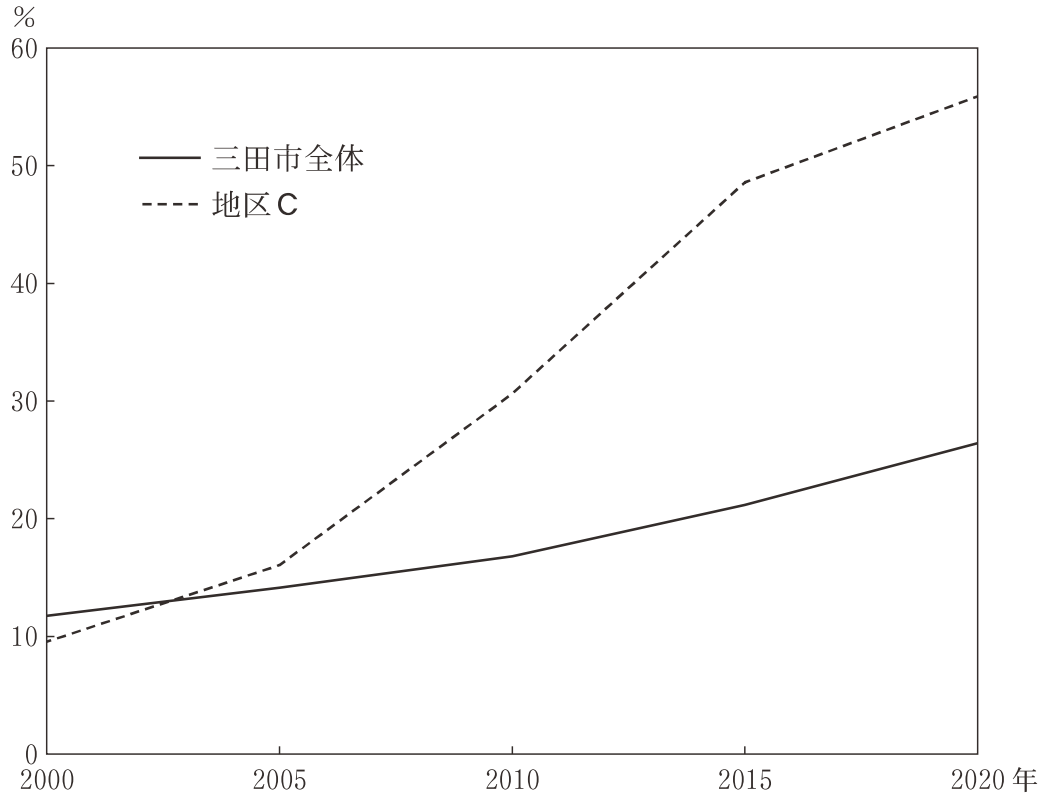


図5

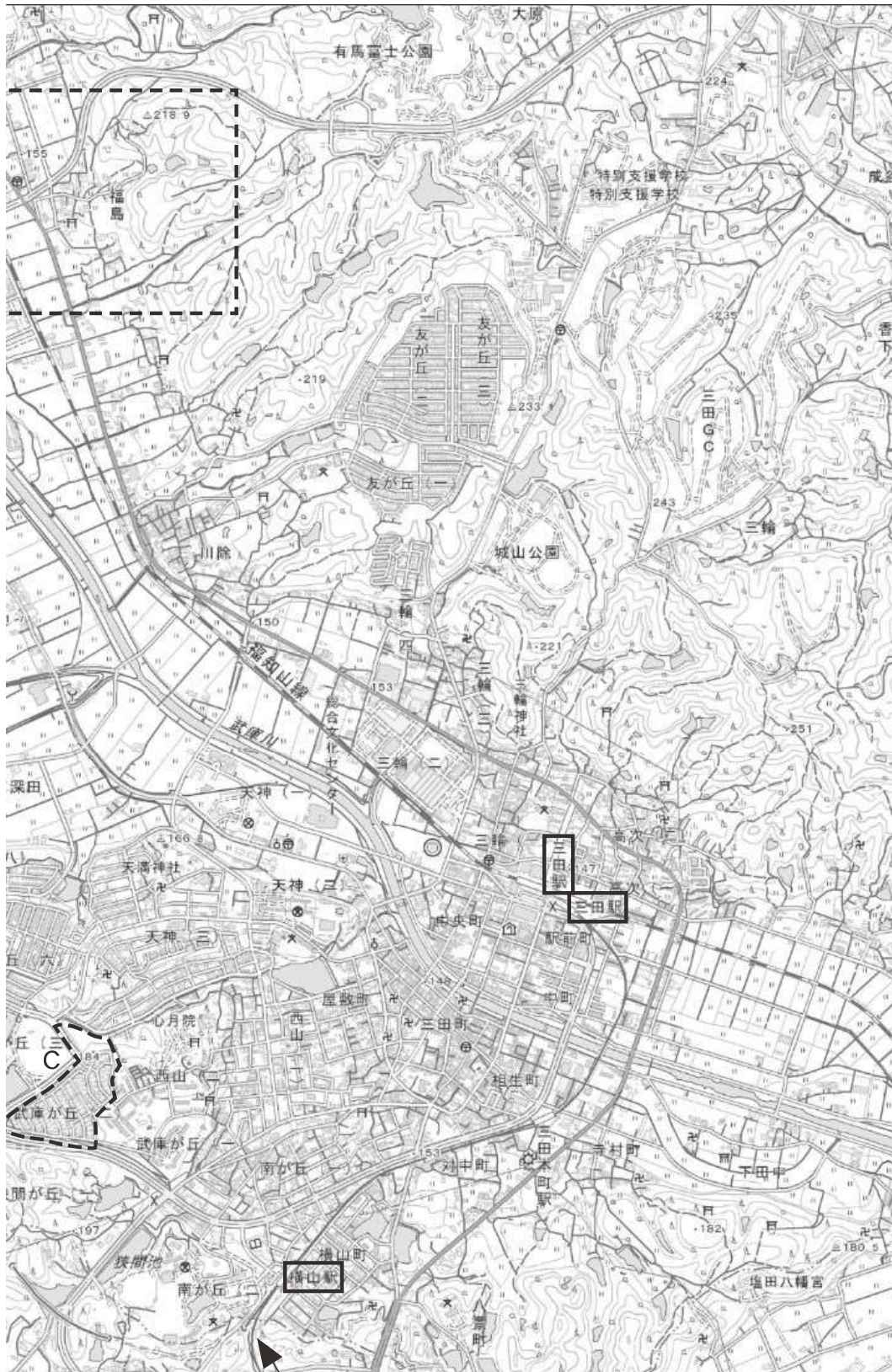
国勢調査により作成。

国勢調査 総務省統計局ホームページより



電子地形図 25000 2022年8月調製

電子地形図25000(国土地理院)



神戸電鉄三田線

0 0.5 km